

21世紀

平成21年度春学期

地球講座



「地域文化とまちづくり」
「北東アジア地域における経済関係」
「本のチカラ」

島根県立大学では
「地域と共に歩む大学」を目指しています。
公開講座の開催を通して
学術研究・教育の成果を
分かりやすく、地域の皆様にお伝えし、
活き活きとした地域を
共に創り出したいと考えています。

申込・
問合せ先



公立大学法人

島根県立大学

事務局 研究企画課

〒697-0016 浜田市野原町2433-2

TEL 0855-24-2201 FAX0855-24-2208

電子メール: kokai@admin.u-shimane.ac.jp

インターネット: <http://www.u-shimane.ac.jp>

申込要項

申込資格 / 学生・社会人を問わずどなたでも結構です。

受講料 / 無料

会場 / 島根県立大学

講座Ⅰ・Ⅱ 講義・研究棟 1階 中講義室 5
講座Ⅲ メディアセンター 多目的演習室

定員 / 講座Ⅰ・Ⅱ 特に設けません。

講座Ⅲ 50名(定員になり次第締め切らせて頂きます)

申込方法 / 官製はがき、FAX または電子メールにて、科目No・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を記入してお申し込みください。なお、受講通知は出しませんので、当日、直接会場にお越しください。



島根県立大学ホームページからもお申し込みできます。

島根県立大学

検索

「地域連携推進センター」 → 「公開講座」 → 「簡単申し込み」

島根県立大学「21世紀・地球講座」平成21年度 春学期 開講科目

講座Ⅰ：「地域文化とまちづくり」

まちづくりを進めていく際に、地域の資源をいかに掘り起こし、再評価し、そして、活用していくかが重要なポイントとなってきますが、地域の文化もまた資源のひとつといえます。そこで、伝統芸能、芸術文化、食文化など、多様な地域の文化に着目し、それを多様な主体が参画してまちづくりにつなげていく道を考えてみたいと思います。

	講師名	科目名	概要	開講日時
1	林 秀司	歴史的町並みの保全と活用	町並みは、地域の歴史と文化の表れといえます。観光の観点からも、歴史的町並みは観光者をひきつける魅力をもっています。歴史的町並みの魅力を、具体的な事例をあげつつ、紹介します。また、これを保全しつつまちづくりに活用していくための手法や地域の取組について考えていきたいと思っています。	5月27日(水) 18:20~19:50
2	藤居 由香 (松江キャンパス)	松江市の歴史的建造物の保存と活用によるまちづくり	地域文化形成の一端を担うまちづくりの一つとして、歴史的建造物を保存し活用する手法があります。その事例として、史跡松江城にある明治時代の木造建築である松江郷土館(興雲閣)と松江市殿町にある戦前の鉄筋コンクリート造のカラコロ工房(旧日本銀行松江支店)を中心にご紹介したいと思います。	5月30日(土) 13:50~15:20
3	八田 典子	芸術文化とまちづくり	音楽や美術などの芸術文化が、まちの魅力や元気の源となり、住民のアイデンティティの支柱ともなっている例は少なくありません。プラハやウィーン、パリやフィレンツェといった世界的に知られた「芸術の都」のみならず、近年では、芸術文化による地域活性化を目指す「アートプロジェクト」の実施により注目されるまちも増えてきました。国内外のユニークな事例を挙げながら、まちを元気づける「アートの力」について考えてみたいと思います。	6月10日(水) 18:20~19:50
4	吉田 篤志 (アンダンテ21)	川がつながるまちづくり ～高津川からの報告	島根県西部を流れ、流域の人々に物質的にも、精神的にも豊かな恵みを与えてくれる清流高津川を核とし、さまざまな事業に取り組んでいるNPO法人アンダンテ21の活動についてお話しします。それを通して、まちづくりに果たすNPOの役割について考えてみましょう。	6月17日(水) 18:20~19:50

講座Ⅱ：「北東アジア地域における経済関係」

1990年代以降、中国は経済の高度成長を持続させ、今や世界経済に大きな影響を及ぼしています。ロシア極東地方もまた急激な経済成長をとげ、国境を越えて北東アジア圏が台頭しつつあるといえるでしょう。一方、現今の金融恐慌は、この地域の経済の先行きにも暗い影を落としています。北東アジア地域の経済関係についてわかりやすく解説を試みたいと思います。

	講師名	科目名	概要	開講日時
5	小林 博	世界金融危機・大不況下における北東アジア地域の金融・経済の現状と見通し	世界の経済成長率は、日本を含む主要先進国の落ち込みが激しく、3月のIMF発表では本年マイナス成長となる見込みである。日本を除く北東アジア諸国さらにはその他アジア諸国においても、資本流出、輸出激減等の影響から成長率が大きく鈍化しつつある。本講義では、世界金融危機・大不況下における北東アジア地域の金融・経済の現状、見通しを概観する。	6月24日(水) 18:20~19:50
6	林 裕明	世界経済危機とロシアの労働者	世界経済危機は各国に失業率の上昇をはじめとする暗い影を落としています。ロシアでも失業の増大や給与の切り下げが生じ、経済成長に伴って増大してきた中間層にも否定的な影響を与えています。本講座では金融危機がロシアの労働者に与える影響を考察し、今後の展望を探ります。	7月1日(水) 18:20~19:50
7	シローコフ	パリに続けて 牡丹祭りはロシアで!	ロシア国内、モスクワからウラジオストクまで日本人の生活様式(食事、文化、庭園造り、家のインテリア、レジャーの過ごし方など)に興味が高まっています。ロシア人は日本人から何を学びたいのか?何に期待を向けているのか?という点についてお話しします。	7月8日(水) 18:20~19:50
8	松永 桂子	中国辺境の地域産業発展戦略 -寧夏回族自治区を事例として	近年、中国は「世界の工場」から「世界の市場」へと変貌を遂げつつあります。今までは沿海部を中心に低コスト生産基地を形成してきましたが、今後は内陸部が新たな地域経済圏になると言われています。その一つの事例として、島根県と関係が深い「寧夏回族自治区」の現況と展望について、お話ししたいと思います。	7月22日(水) 18:20~19:50

講座Ⅲ：「本のチカラ」

2008年度秋学期には、活字離れが喧伝される現在にあって、あらためて読書の魅力を伝えていくことを目的に、「無限に広がる本の世界」と題した講座を展開しました。2009年度はこれを継続しつつも、本の利用方法など多様な切り口で読書の楽しさを伝えていきたいと思っています。

	講師名	科目名	概要	開講日時
A	上野 友稔 (図書情報課 司書)	今ここにある大学図書館 -地域と大学図書館-	公共図書館と大学図書館、同じ図書館でも皆さまがお持ちの印象は違うはずですが、敷居の高さを感じておられる方も多いのではないかと思います。本学メディアセンターでは地域に開かれた大学図書館として各種サービスを提供しています。今回はメディアセンターの本等の各種資料の魅力、働く司書の姿、最後に利用方法やサービスなどについて、ご案内をいたします。これを機にぜひ本学メディアセンターをご利用ください。	5月23日(土) 13:50~15:20
B	ケインIレアン	多読で誰でも 英語が上達する	楽しみながらリーディング・スピードや語彙力が上がり、文法の復習ができます。2007年から県立大学で多読に取り組んでいる学生が、英語力を著しく伸ばしています。あるクラスは年間平均50冊を読み、英語がもっと好きになり、自信が付き、TOEICですばらしい結果を出しました。この講座では、多読の理論や方法の解説、人気が高い本の紹介を行います。また、自分に適した多読本のレベルを知ることでもできます。あなたも多読しませんか。	6月6日(土) 13:50~15:20
C	村井 洋	マキアヴェリの意外な顔 「君主論」から	「悪の教師」の名も高いマキアヴェリの『君主論』とはどんな書物なのか。『ローマ史論』、喜劇『マンドラーゴラ』、小咄『大悪魔バルファゴール』などにも触れながらマキアヴェリの意外な顔にも迫ります。	6月27日(土) 13:50~15:20
D	山田 昌史	お気に入りの本、 紹介してみませんか	市民参加型公開講座の登場です。読書好きのみならず、皆さんの愛読書・おすすめの本を紹介してみませんか。お一人、2~3分で構いません。その本について簡単に内容や感想などをまとめてお話し下さいませんか?参加者のみなさんと本についての情報交換を行うことで本に対する興味・関心を広めて頂き、新たな読書の可能性につながる機会になればと考えております。市民のみならずのご協力がなくては成り立たない講座です。たくさんの方々のご応募をお待ちしております。	7月25日(土) 13:50~15:20

※講師、講義内容を一部変更する場合がございます。